

分別のフォローアップによる資源化率の向上 組織の枠を超えた分別排出の周知徹底

取組の意図、目的、始めたきっかけなど

NEC全社で環境負荷低減のため、廃棄物の3Rを推進しています。
また、事業場から出る廃棄物の減量化・資源化を推進するため、本取組を実施しています。

取組の概要

紙類の分別排出実態調査（分別のフォローアップ）

NEC玉川事業場では、職場から排出される紙類の分別品目を細分化してリサイクルするとともに、焼却するごみへの再生可能紙（古紙、ミックスペーパー）の混入率の調査など、分別についてのフォローアップを実施しています。

このため、現在では職場から排出される紙類のほぼ全てを再生紙としてリサイクルしています。（始めた当初は、再生可能紙の混入率が30%程度でしたが、2010年度現在では約2%（重量比）までになりました。）

組織の枠を超えて分別の徹底に取り組む

現在、当事業場では、排出される廃棄物を16種類に分類して排出しています。分別の周知徹底を図るため、事業場内敷地にある関連会社を含めて、環境に関する共有のWEBページを設置して情報の共有化を図っています。また、年に2回、職場パトロールを実施して各職場での分別の徹底を図るとともに、事業場に入出する事業者到场内の社員と同様の分別をお願いしています。

取組のポイント

分別を徹底することで更なる資源化を推進することができます。この取組では、定期的に再生可能紙のチェックや職場パトロールなど、**分別に関するフォローアップを実施**するとともに、**会社の枠を超えて環境に関する情報を共有するなど事業場全体での取組**により、分別の徹底を図っています。

区分	リサイクル対象品	回収場所	回収日	備考
紙類	新聞紙、雑誌、書籍、コピー紙、印刷物、封筒、紙パック、紙容器、紙製容器、紙製容器、紙製容器	玉川工場内	毎月第1回、第3回	再生紙
プラスチック	プラスチック容器、プラスチック容器、プラスチック容器、プラスチック容器、プラスチック容器	玉川工場内	毎月第1回、第3回	再生プラスチック
ガラス類	ガラス容器、ガラス容器、ガラス容器、ガラス容器、ガラス容器	玉川工場内	毎月第1回、第3回	再生ガラス
金属類	金属容器、金属容器、金属容器、金属容器、金属容器	玉川工場内	毎月第1回、第3回	再生金属
その他	その他、その他、その他、その他、その他	玉川工場内	毎月第1回、第3回	その他

↑ 玉川事業場の資源分別管理表



↑ 再生可能紙混入調査の様子